

本人確認書類の撮影についての注意

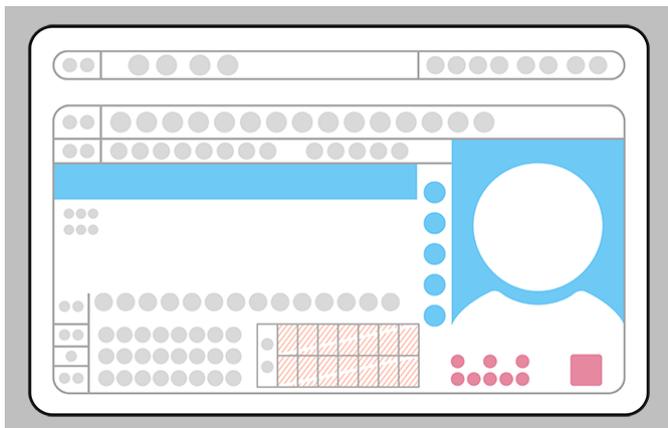
本人確認書類撮影時に記載事項がはっきり読み取れない場合は、お手続きができない可能性があります。

以下の例をご参考いただき、撮影をお願いいたします。

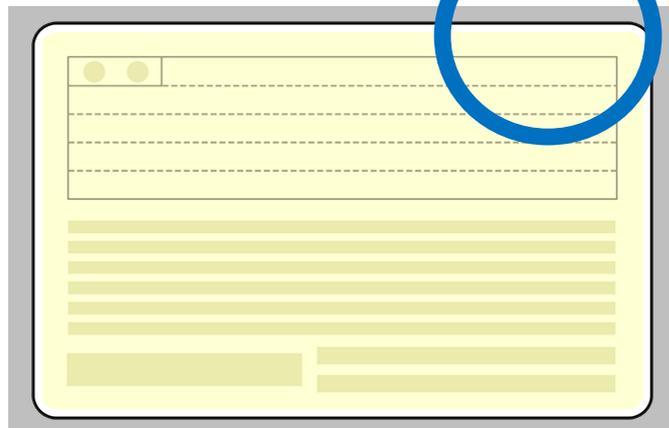
1.画面の上下いっぱいに入れ、横向きに撮影する。証明書以外のものを入れない。

【OK 例】

1 枚目



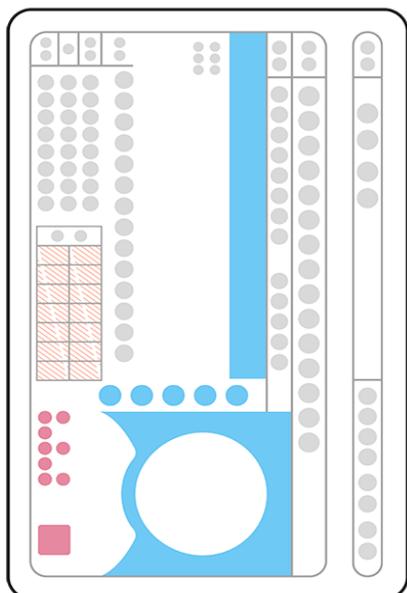
2 枚目



※運転免許証・健康保険証・学生証等については、裏面記載の有無に関わらず表裏 2 枚の画像を添付してください。

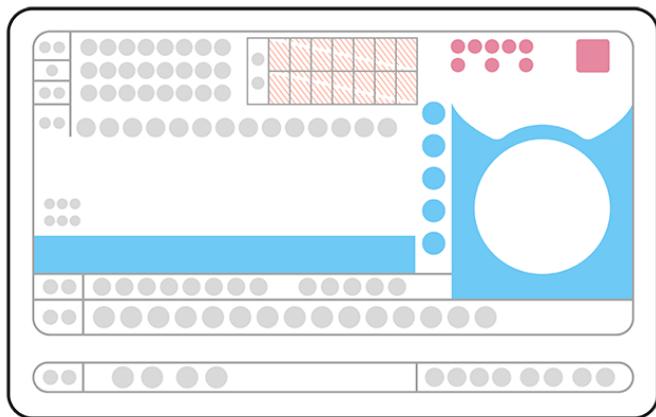
【NG 例①】

証明書が縦になっている ※横向きで撮影してもカメラの撮影モードが縦だと縦向きになります。



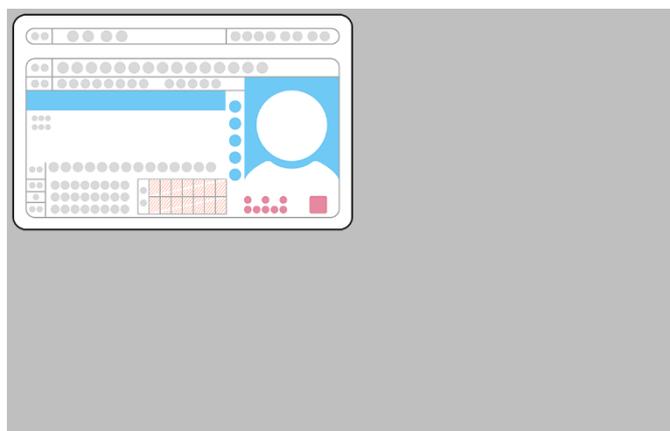
【NG例②】

証明書の天地が逆になっている



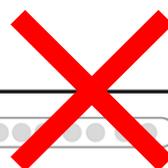
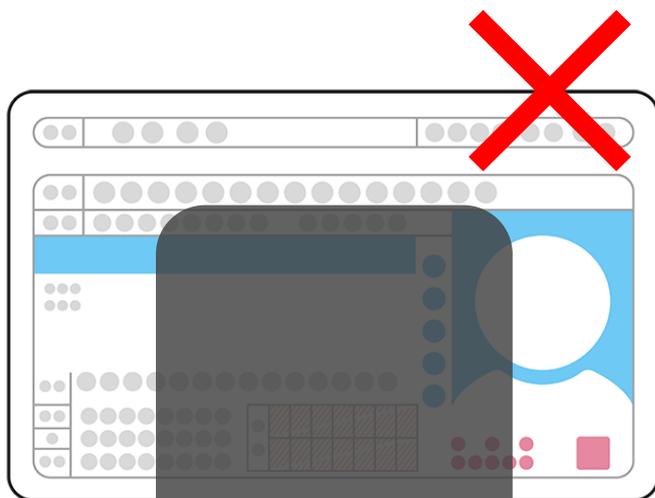
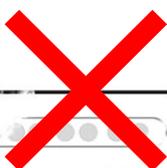
【NG例③】

背景が大きくて証明書が小さい



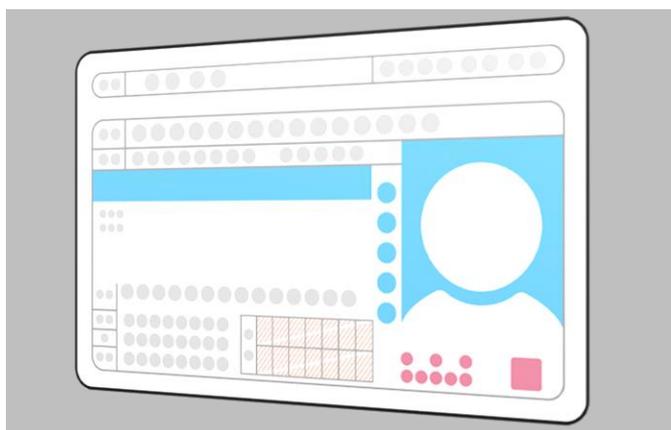
【NG例④】

光が反射したり影が入って文字が読めない



【NG例⑤】

証明書が斜めになって文字が読みとりにくい



2. 黒色などの暗色系の背景で撮影する

3. 明るい場所で撮影する

4. カメラのフラッシュは OFF にし、光が反射しないように撮影する

5. 画面いっぱいにカードが入るようにする

6. 濃い影が映りこまないようにする

7. 文字（氏名・生年月日・住所）にピントが合うように撮影する

8. カメラを水平にして撮影する

9. スマートフォンの場合横向きモードで撮影する

機種によって設定が異なりますが、強く横に動かすか表示をタップすると切り替えることができます。

● 写真の形式は JPEG、1 枚 5 M B まで（推奨 2 ～ 3 M B）をお願いします。

10. 県外に在住で県内に在勤／在学の方

本人確認書類に加え、在勤／在学が証明できる書類[※]も一緒に撮影してください。

※在勤：社員証、名刺など 在学：学生証、生徒手帳など

【例】

1枚の画像に2つの書類が入るように撮影してください。

